

行動する事

古堅中学校 三年六組 長浜 美唯

平和という言葉をも、辞典でさがしてみると、争い事もなく、穏やかな事。戦争がなくて世の中がよく治まっている事という言葉ができてきます。

今、私たちの世の中は平和といえるのでしょうか。日本は様々な犯罪が起きてはいるものの、昔と比べると平和ですごしやすい世の中になりつつあると思います。ですが、世界に目を向けてみるとどうでしょう。平和な国と内乱や争いが絶えない国。私達がたわいな会話で笑っている時に、難民として命を落としかねない状況下にいる人達もいるのです。それは決してあってはいけない事だと思います。また、それは経済面でも同じ事が言えます。一部の裕福層と貧民層。格差は広がるばかりで、日本も例外ではありません。

世界的規模での平和をめざすには、過去を

振り返り今を考えていく必要があると思います。昔、日本は何度も戦争を行い、そのたびに犠牲者を足してきました。

沖縄戦もそうです。太平洋戦争末期に起きた日本国内最大規模の地上戦で、民間人が多く巻き込まれました。日本側の死者、行方不明者は十八万八千百三十六人で、そのうちの約半数が民間人なのです。自然豊かで美しい海にかこまれたこの島が、かつて戦場となり、鉄の雨がふりそそいだ事は忘れてはいけな事です。今も島に残る生々しい銃弾のあとや、ときどきニュースで報道される不発弾の事をきくと、悲しい気持ちになります。

私達は、戦争を体験した事がありません。ですが、戦争がどれほど恐ろしいものか知っています。起きてしまった悲劇をもうくり返さないために、今ある貧困や争いの問題を解決していくために、募金などの具体的な、私達にもできる小さな事からしていくべきだと思います。